

## ◆技術交流事業

# ケンサキイカ漁業先進地視察（新漁業開発・凶南丸利活用）

水産海洋技術センター 紫波俊介

## 1. 目的

夏場の新たな漁船漁業技術開発のため、名護漁協岸本幸次漁業士、具志川漁協石川支所平川隆漁業士、近海マグロ漁協比嘉良尚氏、糸満漁協松田秀司氏とケンサキイカ漁業先進地視察を行った。

尚、本視察の知見を用い、次年度より新規事業「沖縄水産資源利用拡大事業」を立ち上げ、東シナ海での新たな漁業開発・凶南丸の新たな活用を行う事となった。

## 2. 方法

6月10日～13日にかけて、長崎県対馬市にてケンサキイカ釣り漁船乗船実習、福岡県宗像市にて樽流し漁法視察を行った。

## 3. 結果

### （1）長崎県対馬市

石田直也普及指導員に随行頂き、巖原漁協吉村元嗣氏のケンサキイカ操業に同行し、乗船実習を受けた。

- ・イカ釣り機6台設置、回転速度は85～95回転、しけた場合は85回転に。触腕が切れやすいので、回転数を下げる人もいるが、73回転以下だと余り釣れない。
- ・ケンサキイカはあまりしゃくりは合わない。
- ・疑似餌連結は26本、錘300号。疑似餌は透明度が良い時はあまり派手な色ではない方が良いと思う。コンスタントに釣れるのは、紫か若草色。ピンク一つ入れるとそれに良くつくときもあるが、全てピンクにした所で釣れるわけではない。日によって色が違う。
- ・長崎の光量制限は3kw52個。一番大変な競争時

代は70個という時もあった。実際は12個からでもイカは来る。

- ・集魚灯と舷の角度は60°が良い。
- ・イカ操業時は1.5マイル船間距離を取ることになっている。
- ・魚探にはイカはクラゲのように映る。反応の中の色が暗くて、周りが薄くなる。クラゲも光があると上がる傾向がある。魚がいる日はイカがいたとしても食いが悪い。今回の操業はそのような感じがする。
- ・一箱当たり重量は4kgなのだが、漁連の指導は4.2以上。実際は平均4.8～5.2くらい。今里地区は5.2～5.5位つめ、先取りされるよう努力している。
- ・活き締めをすると、12時間ほど柔らかい時間が野締めより長くなる。ただ、対馬の場合漁獲後次の日の朝にフェリーに載せ、その次の日のセリなので意味が無い。長ければ4日間かかり、その時はダンブルに箱ごと入れておく。人によっては海水で油紙を濡らしてイカの表面に置いておく。
- ・もし沖縄でケンサキイカ漁業をするのであれば、設備投資だけで1000万を超すので、中古のイカ釣り船を600万程度で買った方が良いのではないか。船も安定しているし。船の形もイカ釣りに徹しているなので、ダンブルの形も違う。設備は福岡の方が安く手に入るとのこと。

### （2）福岡県宗像市

福岡県片山幸恵研究員より随行頂いた。

#### ①道の駅宗像

道の駅宗像を視察した。年間20回ほどテレビに出ており、広告効果が高く、60代くらいの退職者の方をターゲットにし、遠方へ旅行に行く

代わりに、福岡・北九州の間である少し遠い宗像へドライブし、購入することを狙っている。

元々宗像漁協鐘崎支所はセリは無く、漁業者が自ら販売しており、各漁業者が独自でシールを貼り、水産物を持ち込んでいた。

ケンサキイカは販売直前に締めている物もあり、ショーケースに並べてる間に売り切れていた。

## ②宗像漁協鐘崎支所

魚住組合員より、たる流し漁法についてご教示頂いた。

- ・棚の深さは夏60m、冬広島等は100m
- ・朝4時半頃、日の出と共に操業開始、1日6、7回操業。12時頃に終了。潮が速い場合は直ぐに、

遅い場合はゆっくり回収する。

- ・ブドウイカは身が厚くて強い（活で生き残りやすい）。夏イカは少し弱いと思う。
- ・福岡県は集魚灯は15灯まで。他県大型船を閉め出す方向。
- ・活イカの多くは呼子へ流通しており、イカは福岡では赤くなってしまうと価値が大きく下がる。近年個人でも活魚槽を持っている人が増えてきている。

## 4. 考察

本視察の結果、ケンサキイカ試験操業に必要な知見を得ることが出来た。



吉村元嗣氏による乗船実習



イカ釣り機「はまで」シリーズは3型までは修理用部品も豊富にある



手釣り用スツテ



鎖式スバル





平川漁業士による手釣り



いか活っちゃ器による活締。対馬は輸送に時間がかかるため、活にする意味はあまり無いが締めるなら、指の方が速いとのこと



イカ箱詰め。氷は細かい物を使用するため、個人にて製氷機を所持している場合もある



アナゴ漁船。九大が対馬西沖のアナゴは脂の乗りが良い事を数値的に証明し、ブランド化に取り組み。築地の評価も高くなってきている。



対馬地区漁業士谷本漁業士、対馬地区普及員の皆様より盛大な懇親会を開催して頂く



造船所（ニシエフ）イカ釣り船は10年ほど注文無し。19tクラスの凍結船は前後に冷凍機を設置している模様





道の駅宗像。活締めも行う。



ケンサキイカ（鮮魚）



活締め直後のケンサキイカ。飛ぶ様に売れる



宗像漁協鐘崎支所魚住さんを囲んで



樽流し漁具



鐘崎支所活魚出荷施設。ケンサキイカ活魚パックも販売。活締めも行い、チョップにて締めていた